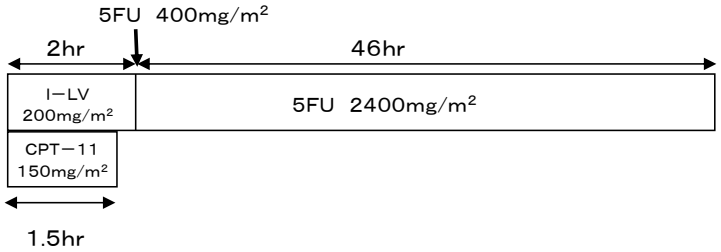
がん化学療法治療計画書　大腸-⑥ 2022.1

担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和 □ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知　□部分告知　□未告知
告知内容	□ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ） □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師（　　）　薬剤師（　　）
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長：　　cm　　体重：　　Kg	
体表面積　　m^2	

大腸癌　FOLFIRI療法



1クール　2週間

投与開始日　　年　　月　　日　　クール予定

● レボホリナート	200mg/m^2	計算量：　　mg	投与量：　　mg
● CPT−11 （CPT−11 ： 一般名イリノテカン、商品名カンプト）	150mg/m^2	計算量：　　mg	投与量：　　mg
● 5−FU（急速静注）	400mg/m^2	計算量：　　mg	投与量：　　mg
● 5−FU（持続静注） （5-FU ： 一般名フルオロウラシル、商品名フルオロウラシル）	2400mg/m^2	計算量：　　mg	投与量：　　mg

【投与スケジュール】

Day1～3

15分	1） パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL　1V デキサート　1．65mg　5A	《 2−1)と2−2)は同時に投与 》
2時間	2−1） 5%TZ　250mL　1V レボホリナート （　　）mg	90分：2−2） 5%TZ　250mL　1V ブスコパン　20mg　1A カンプト （　　）mg
	全開：3） 生食　30mL bolus5−FU （　　）mg	
インフューザー 46時間	4） 生食　100mL　2V 5−FU （　　）mg 5）ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ10mL　1A	全量230mLになるように、生食の量を調節

【Day2～3の内服薬】※症状に応じて省略可

Day2～3	デカドロン（4mg）	1錠	分1 朝食後	2日間

神戸労災病院　がん化学療法委員会